

Direct Calling for Microsoft Teams

サービスのご紹介

3.2版

Office 365/Microsoft 365の 「Microsoft Teams」上で外線通話ができるサービス



**Microsoft Teamsさえあれば
どこからでも電話でコミュニケーションができます！**

手軽に始められる

月額 **330円/ID**～(税込)利用可能で**最低利用期間なし**。
すぐに電話が発着可能な状態で提供可能な「設定代行メニュー」もご用意

すぐに使える

フルクラウドで電話回線やPBX等の**電話専用設備不要**。
最短5営業日での提供が可能。

高い**柔軟性**

ロケーションフリーな050番号で人事異動やオフィス時でも番号変更不要。
オフィスでご利用中のArcstar IP Voice番号を発信番号として通知できる
「**IP Voice番号通知機能**」の利用で**テレワークにも柔軟に対応可能**
また、フリーダイヤル/ナビダイヤル※の着信回線として利用でき。
コールセンタのテレワーク対応としての利用が可能。

※フリーダイヤルインテリジェントサービス/ナビダイヤルインテリジェントサービスが対象

手厚い**サポート**

- ・ **Powershell設定作業をComが実施することでお客様稼働削減**
(設定代行メニュー)
- ・ ノウハウを持つ事業者が少ない「PhoneSystem(電話システム)」に関する設定方法や、PowerShell設定時のトラブルシューティング、**企業ニーズの高い電話機能※の設定に関するノウハウ**を持つスタッフがお客様の困りごとをサポートします。(お客様設定サポートデスク)

※PhoneSystem (電話システム) で提供可能な機能に限ります

メリット1

働き方改革を推進

—外出先や在宅勤務（テレワーク）でも、オフィスと同じ環境を実現—



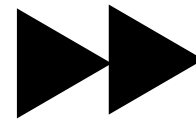
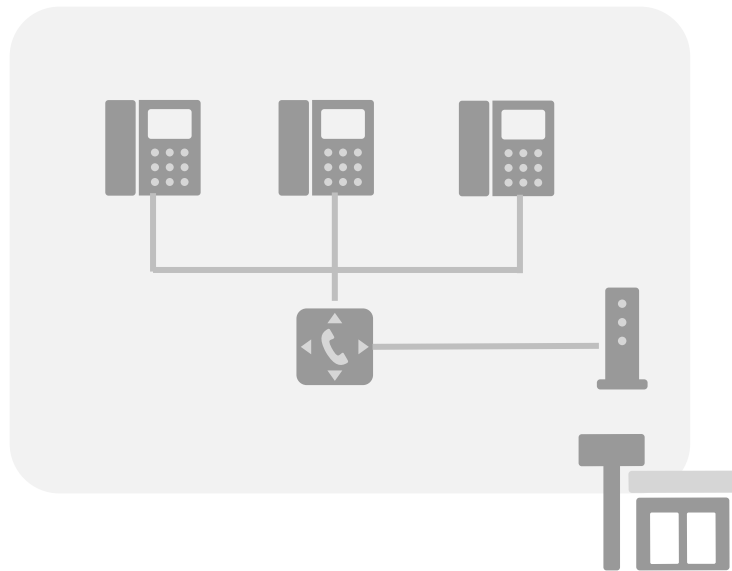
チャット・メール・電話会議等に加え**外線通話**も
ビジネスに必要なツールは**Microsoft 365に集約**
どこにいてもいつものツールで業務可能に

メリット2

身軽なオフィス環境を実現
—最短5営業日※で電話環境を提供—

※Microsoft Teams + Phone System(電話システム)ご利用中の場合

Before



After



PBXはクラウド化。電話専用回線も不要で、
省スペースかつスピーディーにオフィスの
電話環境構築が可能！

移転の多い店舗に

電話専用の移設工事不要！柔軟な出店戦略を実現

外出の多い営業店

仮事務所に

電話専用の環境不要！構築も撤収もより手軽に！

モデルーム
建築現場の仮事務所

小規模オフィスに

Teamsにコミュニケーションを集約！

内線も外線も「Direct Calling for Microsoft Teams」におまかせ！

リモートワーク拠点
(働き方改革)

Direct Calling for Microsoft Teams導入拠点から、
NTTコミュニケーションズのIP電話サービス
(Arcstar IP Voiceなど) への通話は無料となります！

NTTコミュニケーションズならではのメリット①

ーオフィスでご利用中の電話番号を使って発信できる「IP Voice番号通知機能」



**Direct Calling for Microsoft Teamsで発信した場合でも、
オフィスでご契約中のArcstar IP Voiceの電話番号を相手先に通知
することができます**

NTTコミュニケーションズならではのメリット②

—ご利用中のフリーダイヤル/ナビダイヤル番号※を使って発信できる「特定番号通知機能」

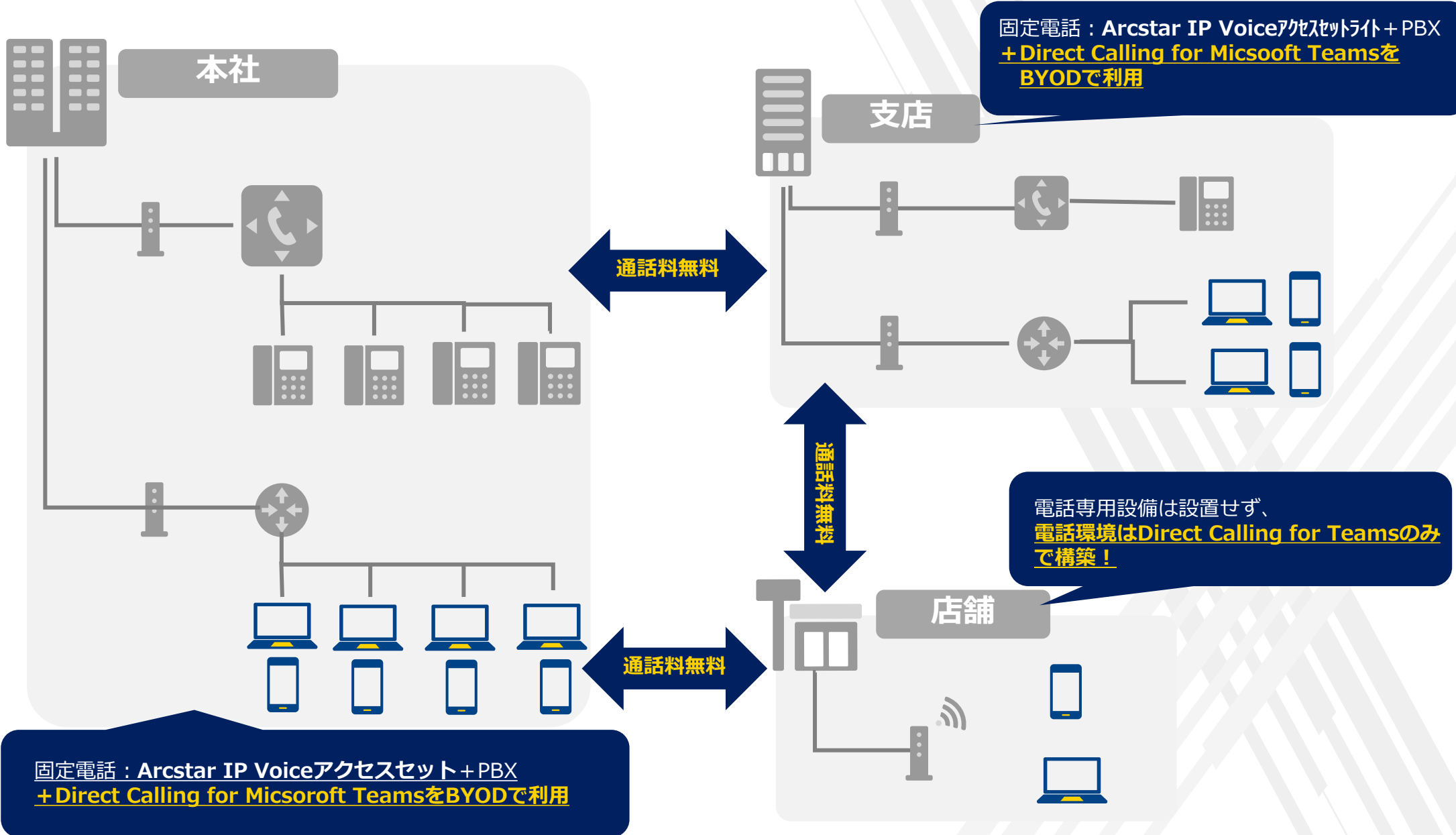


Direct Calling for Microsoft Teamsで発信した場合でも、
ご契約中のフリーダイヤル/ナビダイヤル※の電話番号を相手先に通知
することができます

※フリーダイヤルインテリジェントサービス/ナビダイヤルインテリジェントサービスでご利用中の番号に限りです

NTTコミュニケーションズならではのメリット③

一拠点特性に応じたサービスの選択ができる多彩なサービスラインナップ



—最低利用期間なし！ミニマムコストで導入できる！

「Direct Calling for Microsoft Teams」に興味はあるけれど実際どれくらい使われるか・・・
⇒部署ごと、支店ごとなど小さく始めてみませんか？



外出の多い部署



育児・介護中社員が多く
在宅勤務のニーズの高い部署



「部署代表」電話の
必要性が低い部署



社内の次期インフラを
検討している部署

**1 IDあたり月額300円（税込：330円）から利用可能、
最低利用期間ナシ、導入コストも最小限の
Direct Calling for Microsoft Teams だからできる「部分」導入**

NTTコミュニケーションズならではのメリット⑤

—お客さま設定サポートデスクの利活用

Before



After

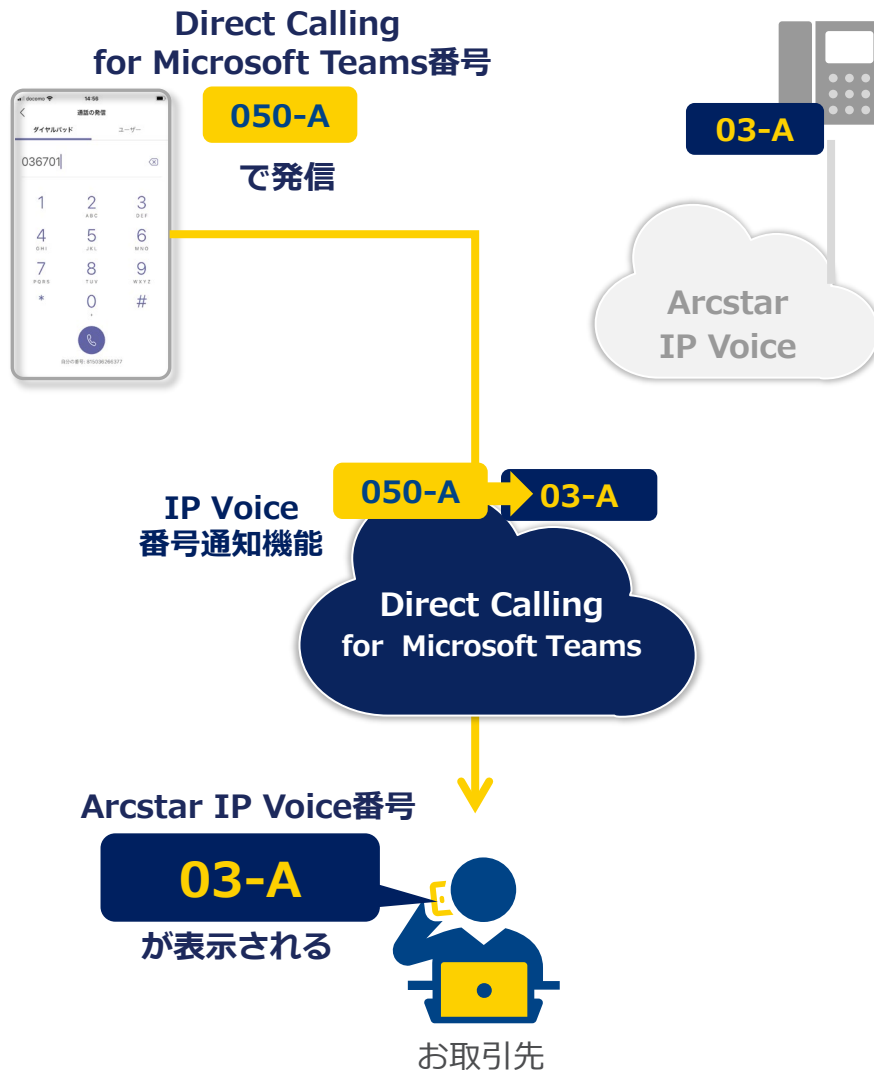


「これはDirect Calling for Microsoft Teamsの機能? それともMicrosoft 365側の機能?」
Direct Calling for Microsoft Teamsのご利用時の設定や操作に関するお困りごとを
一元的にサポート。無駄な問い合わせ稼働を削減し効率的な管理が可能に。

Case 1 : リモートワーク時にもオフィスの電話番号で対応したい

— Arcstar IP Voice 「転送機能」 + Direct Calling for Microsoft Teams 「IP Voice番号通知機能」

発信時



着信時



Case 2 : 部署代表宛の電話にチーム全員で応答したい

— Arcstar IP Voice 「転送機能」 + Direct Calling for Microsoft Teams 「代理人機能」 ※

※Phone System(電話システム)の機能です



- ① 050-Aの代理人として050-B~050-Hを設定します。
- ② 050-Aへの着信時の同時呼出先として、代理人である050-B~050-Hを設定します。
⇒これにより、050-Aへの着信時、050-A~050-Hが同時に呼び出されます※
- ③ Arcstar IP Voiceの転送機能を使い、03-Aへの着信時に050-Aに無条件転送する設定をします。
⇒これにより、03-A宛の電話は全て050-Aに着信します

※最大25名同時着信可能

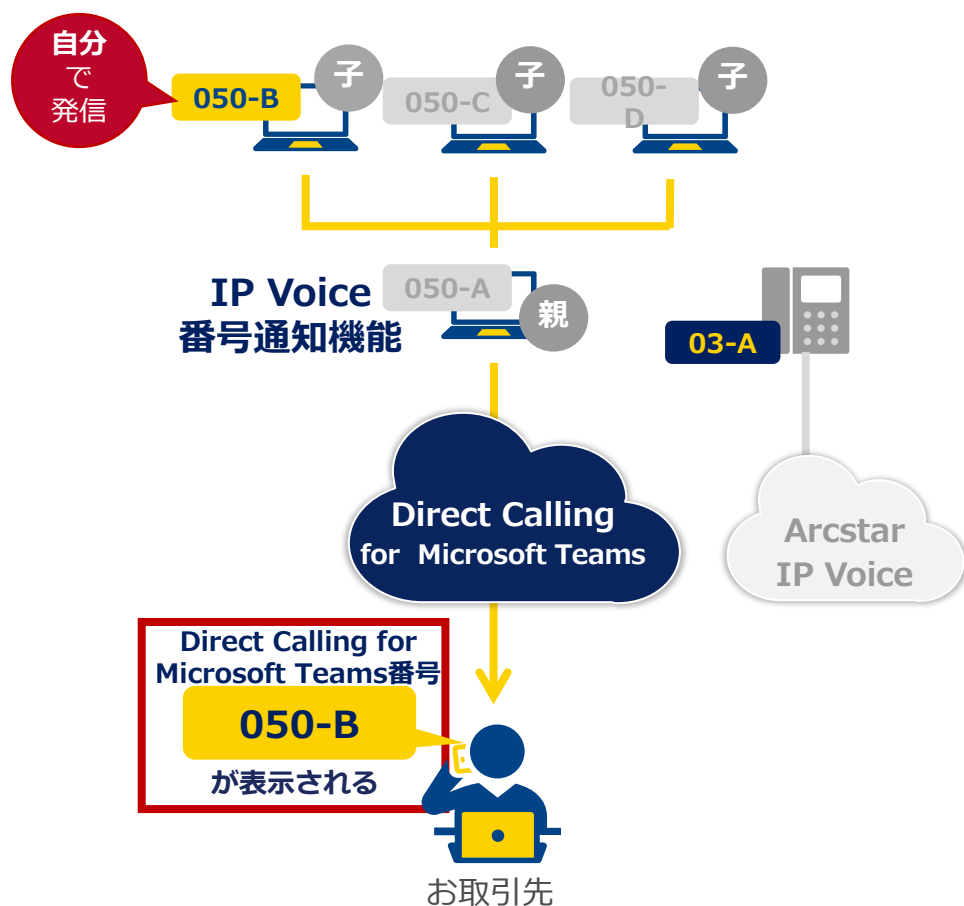
- ・・・上記3STEPで代表番号03-A宛にかかってきた電話を、オフィスワーク中かリモートワーク中かに関わらずチームメンバー全員がDirect Calling for Microsoft Teamsでピックアップすることが可能です

Case 3 : 会社の代表番号と個人の番号を使い分けたい

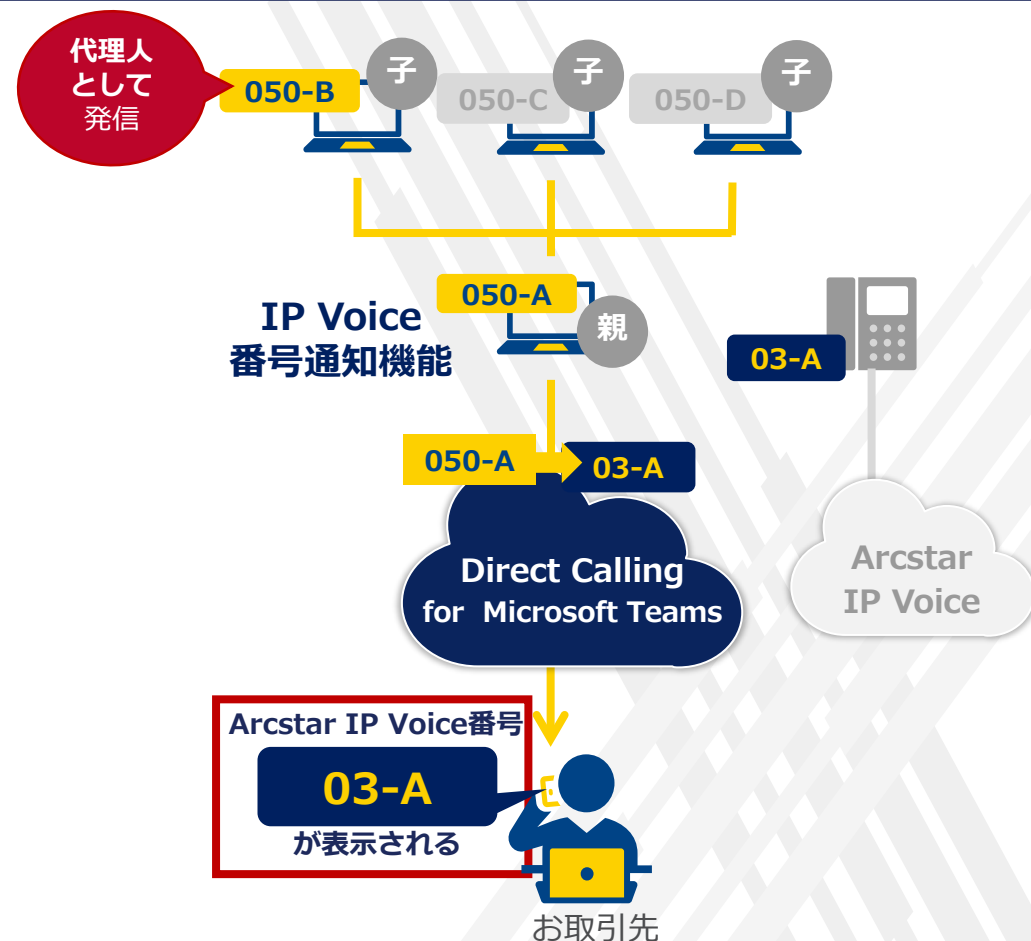
— 「IP Voice番号通知機能」と「代理人機能」※を組み合わせにより実現可能

※Phone System(電話システム)の機能です

個人番号を通知したい：自分で発信



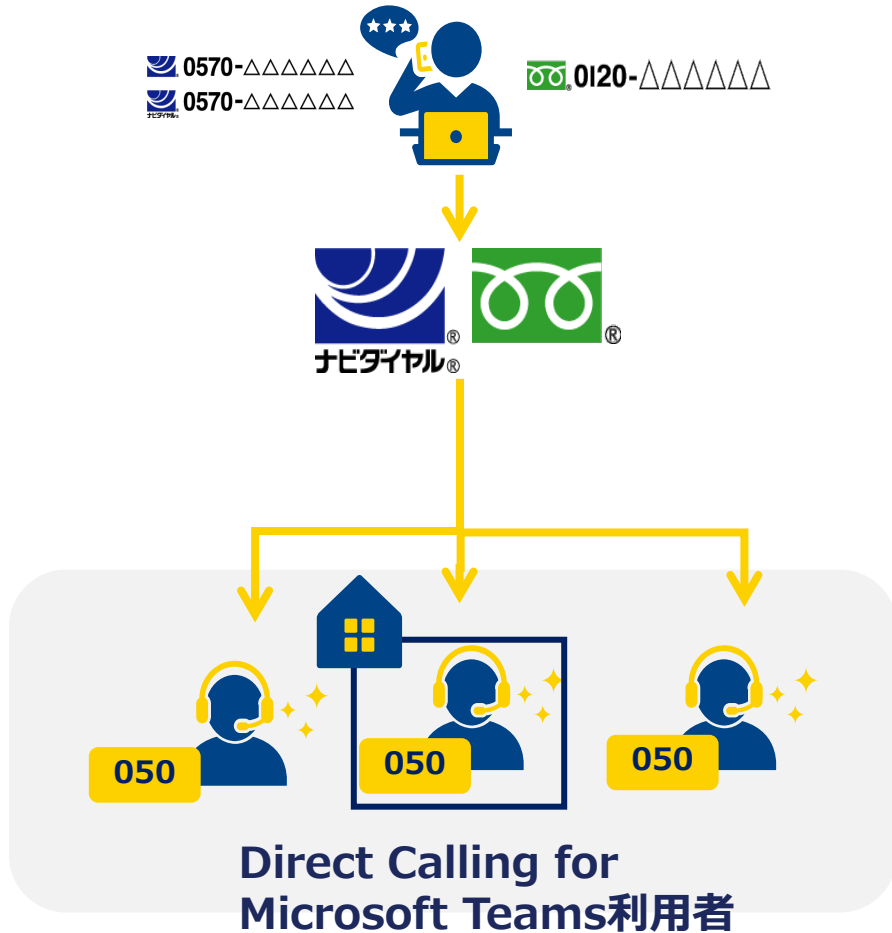
会社代表番号を通知したい：代理人として発信



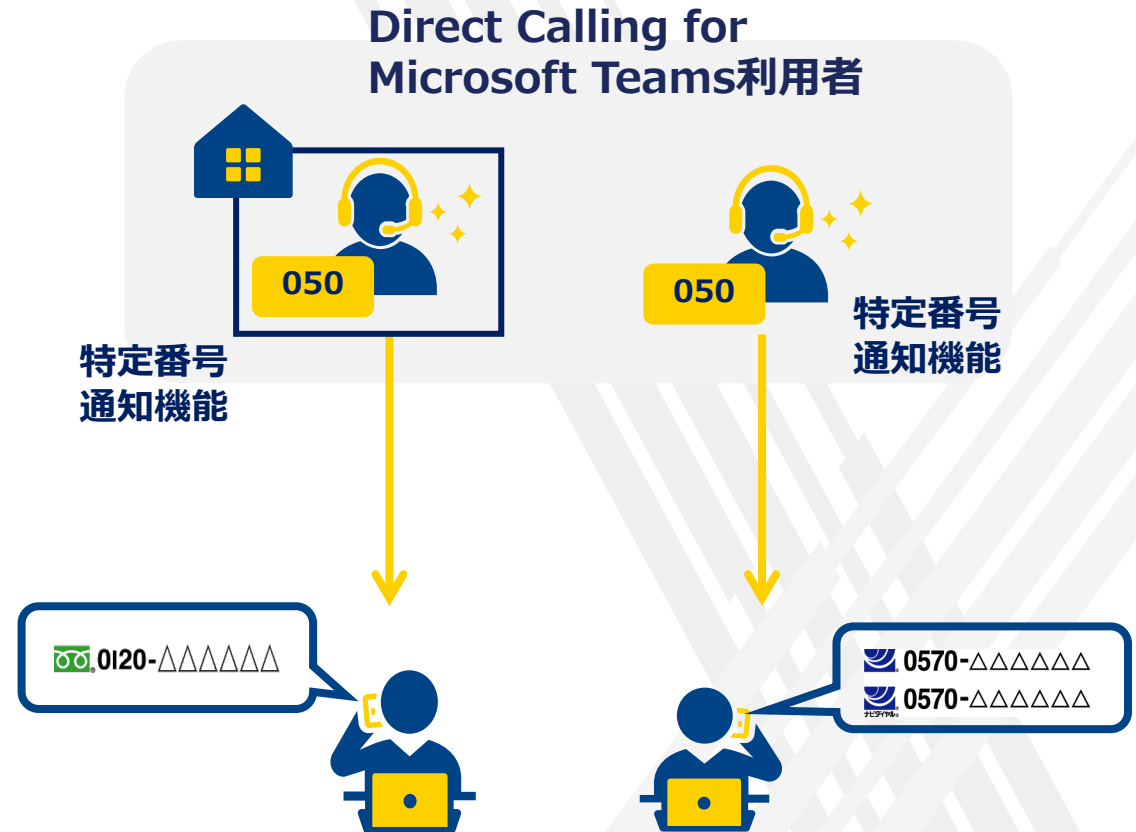
代理人が「自分自身として発信」する場合 = 自分自身の050番号 (Direct Calling for Microsoft Teams番号) が相手先に通知されます
代理人が「委任者として発信」する場合 = 委任者に設定された会社代表番号 (Arcstar IP Voice番号) が相手先に通知されます

Case4 : コールセンター業務をリモート環境で対応したい

フリーダイヤル・ナビダイヤル※を Direct Calling for Microsoft Teamsに着信



Direct Calling for Microsoft Teamsから フリーダイヤル・ナビダイヤル※番号で発信



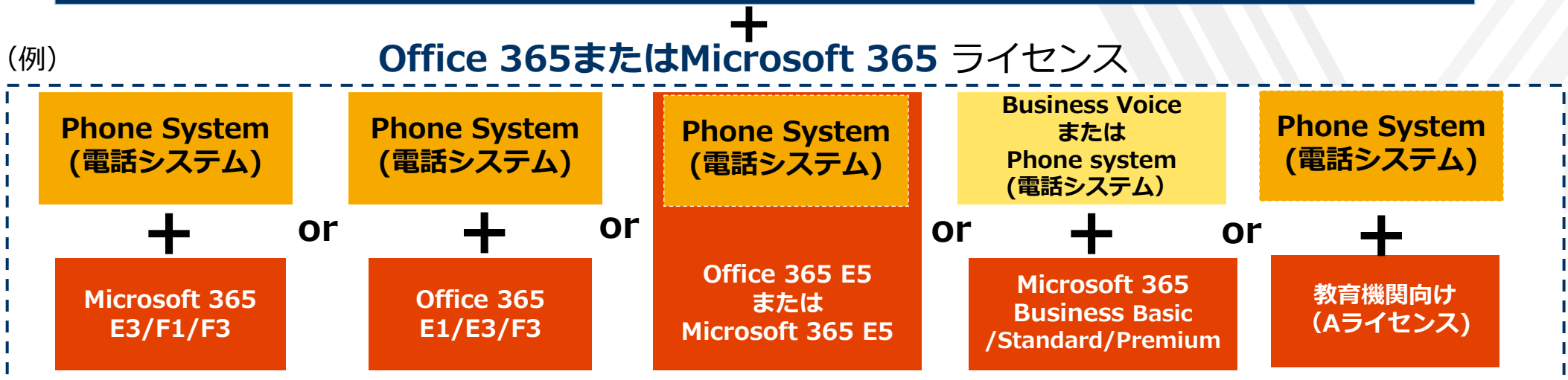
※フリーダイヤルインテリジェントサービス/ナビダイヤルインテリジェントサービスが対象

本サービスのご利用には、「Office 365またはMicrosoft 365」と、「Microsoft 365 Phone System(電話システム)」か「Microsoft 365 Business Voice」のご契約が必要です

- ※ 「Microsoft 365 Phone System(電話システム)」は Microsoft 365で通話の管理とPBX 機能を実現するシステムです。
- ※ 「Microsoft 365 Phone System(電話システム)」や「 Microsoft 365 Business Voice」のライセンスはMicrosoft 365ライセンスの購入元（NTTコミュニケーションズもしくは他社）からご購入できます。
- ※ お使いのライセンスでMicrosoft 365 Phone System (電話システム)が付けられるかは、Microsoft社もしくは、購入元にご確認をお願いいたします。

Direct Calling for Microsoft Teams

NTTコミュニケーションズ以外の事業者が提供するOffice 365/Microsoft 365ライセンス上でも提供可能*1



- *1 NTTコミュニケーションズ以外の事業者が提供するOffice 365/Microsoft 365ライセンス上でご利用の場合、Direct Calling for Microsoft Teamsのお申込み前にリセラー承諾を実施いただく必要があります。
- ※ Microsoft 365 E5/A5 および、Office 365 E5/A5プランの場合、「 Microsoft 365 Phone System(電話システム)」を含むプランのため「 Microsoft 365 Phone System(電話システム)」オプションの契約は不要です。
- ※ 教育機関ライセンスでMicrosoft 365 Phone System(電話システム)が付けられるプラン（もしくはMicrosoft 365 Phone System(電話システム)が含まれているプラン)については、Direct Calling for Microsoft Teams利用可能です。
- ※ 本サービスのお申し込みにあたっては、同一テナントにMicrosoft 365/Office 365のE1、E3、E5、A1、A3、A5のいずれかのライセンスが管理用ユーザとして1ライセンス以上必要となります。お客さま環境での本サービスのご利用が確認できましたら、管理用ユーザのライセンスの割り当ては解除することができます。
- ※ Direct Calling for Microsoft Teamsのご利用が可能なプランはこちら(<https://www.ntt.com/business/services/voice-video/voip/directcalling/plan.html>)をご確認ください。
- ※ Microsoft 365 for NTT Comはこちら(<https://www.ntt.com/content/dam/nttcom/hq/jp/about-us/disclosure/tariff/pdf/c244.pdf>)をご確認ください。

提供料金（初期・月額）



月額利用料	単位	料金	概要
Direct Calling for Microsoft Teams 利用料	ID	300円 (税込330円)	Direct Calling for Microsoft TeamsのID = 050番号です
特定番号通知機能※1	ID	100円 (税込110円)	契約中のフリーダイヤル・ナビダイヤル※番号を発番に設定できます
IP Voice番号通知機能	ID	無料	同一名義のArcstar IP Voiceで契約中の0ABJ/050番号を発番に設定できます
通話料	ID	従量制 詳細は次ページ	Direct Calling for Microsoft Teamsを利用した外線発信時に発生いたします
お客さま設定サポートデスク	契約	30,000円 (税込33,000円)	ご利用時の設定や操作に関するお困りごとを一元的にサポートします

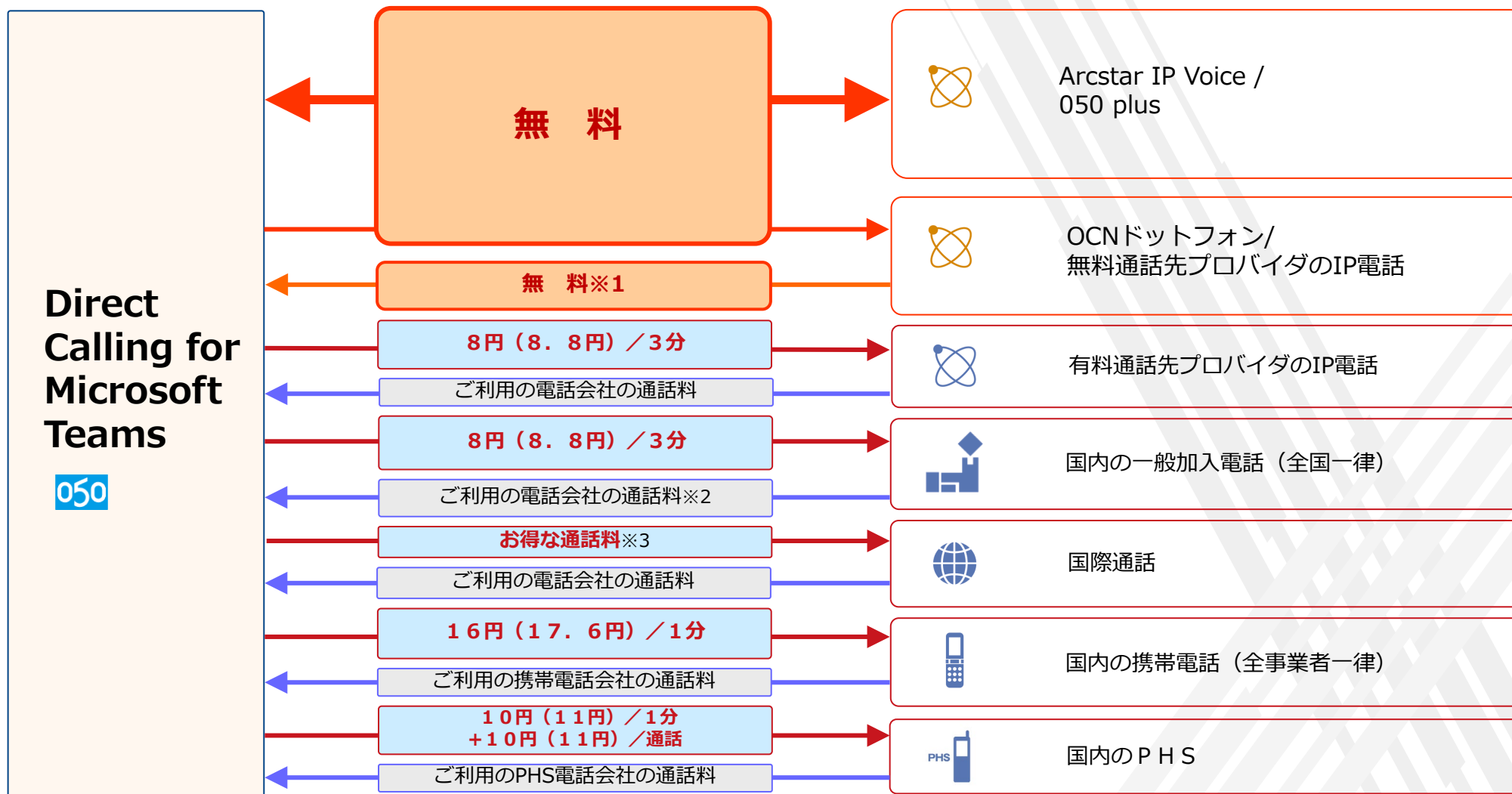
※1 通知できる番号はDirect Calling for Microsoft Teamsを着信回線とする「フリーダイヤルインテリジェントサービス」「ナビダイヤルインテリジェントサービス」番号に限ります。
 ※別途、1ID (=050番号) ごとにユニバーサルサービス料・電話リレーサービス料が必要となります。詳細は下記HPをご参照ください。
 ユニバーサル料：<https://www.ntt.com/about-us/cs/univ.html>
 電話リレーサービス料：<https://www.ntt.com/about-us/cs/univ.html#tab2>

初期費用	単位	料金	概要
交換機など工事費	契約	3,000円 (税込3,300円)	Direct Calling for Microsoft Teamsご利用開始にあたり必要な諸手続き・工事費用です

初期費用 (オプションメニュー)	単位	料金	概要
設定代行メニュー※	契約	50,000円 (税込55,000円)	お客さまがご利用されているMicrosoft 365ユーザーIDに対し、Direct Calling for Microsoft Teams ID/リソースアカウントの設定をいたします

※PhoneSystem（電話システム）の設定は含みません。PhoneSystem（電話システム）の設定をご希望の際は、「電話システム導入支援メニュー」をご利用ください（有料/特約メニュー）

() 内は消費税を含んだ金額

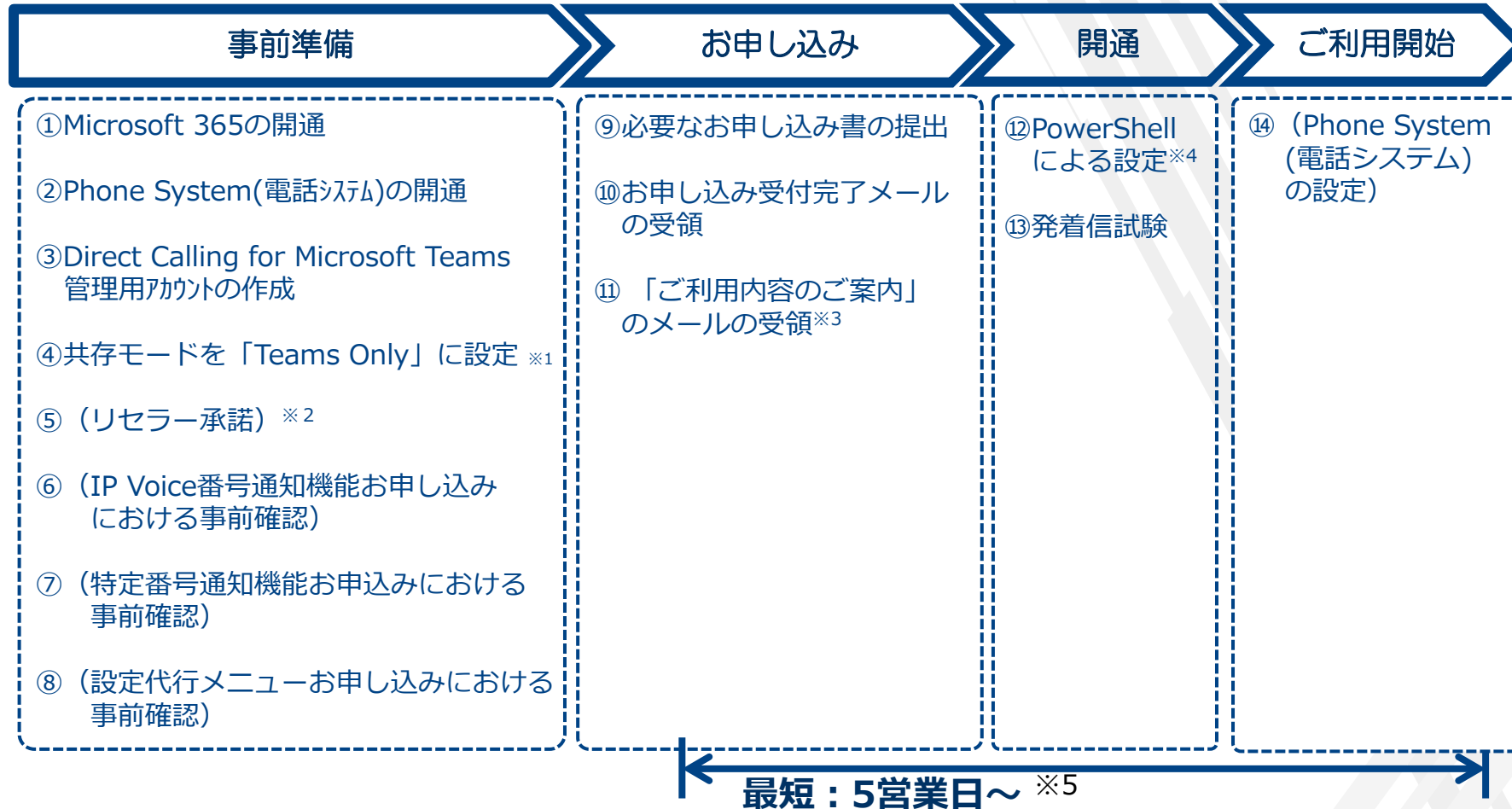


※1 OCNドットフォン、無料通話先プロバイダのIP電話：050番号への通話は無料。0AB～J番号への発信は有料(3分あたり8円(8.8円))となります。なお無料通話先プロバイダのIP電話の詳細はWebサイト (<http://www.ocn.ne.jp/voip/phone/service2/>) にてご確認ください。

※2 050番号への通話は、全国一律料金 (NTT東日本・西日本の場合、全国一律3分あたり10.8円(11.88円)) です。

※3 国際通話料金の詳細はWebサイト (https://www.ntt.com/business/services/voice-video/voip/ipvoice/price_p.html) にてご確認ください。

Direct Calling for Microsoft Teamsを導入いただくまでの流れ



※1 Direct Callingをご利用いただくにあたっては**共存モードを「Teams Only」**としていただく必要があります。(Microsoft社の仕様)
なお、テナント内にSkype for Businessご利用ユーザがいる場合には、Direct Callingをご利用するユーザを個別にTeams Onlyへ変更していただく必要があります。

※2 海外でご契約されたMicrosoft 365をご利用の場合、リセラー承諾を行うことができません。ご契約の確認方法やリセラー承諾を行わない場合の開通までのフローや納期は異なりますので詳細は営業担当者へお問い合わせください。

※3 「お客さま設定サポートデスク」をお申し込みの場合、サポートデスクの連絡先もこちらでご案内します。

※4 弊社での設定代行可(有料)

※5 申し込み内容により納期が異なります。N番新設と同時にIP Voice番号通知機能をお申し込みの場合は最短16営業日～です。

N番新設と同時に設定代行メニューをお申し込みの場合は最短12営業日～です。詳細な納期に関しては、弊社営業担当者までお問い合わせください。

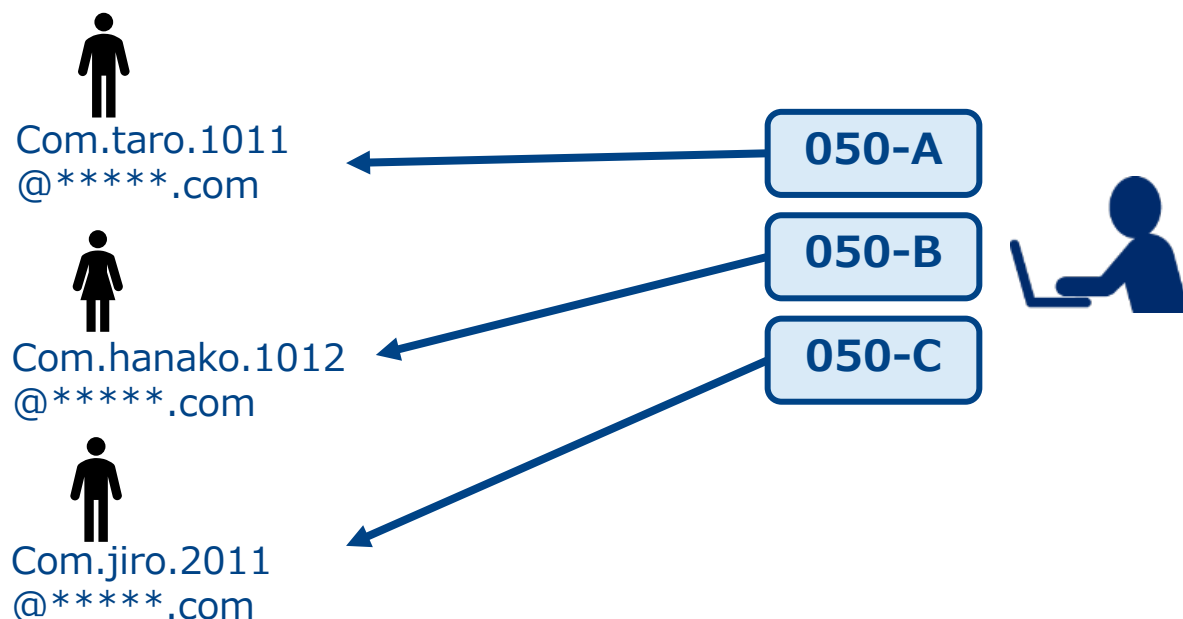
お申し込みの際には「Direct Calling for Microsoft Teamsご契約の手引き」も併せてご確認ください。

項目名	ご留意事項
1 契約(N番)	最大1000ID利用可能 (1ID=1番号1ch) ※ 1000IDを超える場合、複数N番でのご契約が可能です。 N番を跨いでの番号移動はできません。
利用可能番号	050番号 番号は弊社より新たに払い出させていただきます。電話番号の指定はできません。 同一名義のArcstar IP Voiceでご利用中の番号を発信先に通知する「IP Voice番号通知オプション」をご利用いただくことで、発信先に0ABJ番号を通知することも可能です。 NTTコミュニケーションズが提供するIP電話サービスでご利用中の050番号を同番移行してご利用いただくことはできません。
請求関連	通話明細はWeb明細（ビルングステーション）にてご確認ください。 ビルングステーションよりcsvによる出力も可能です。
ビジネスポータル	ご利用できません
緊急通報	ご利用できません
フリーダイヤル・ナビダイヤルへの発信	NTTコミュニケーションズが払い出し、NTTコミュニケーションズが提供する着信課金サービスへの発信のみ可能です。
フリーダイヤル・ナビダイヤルの着信回線利用	フリーダイヤルインテリジェントサービス・ナビダイヤルインテリジェントサービスの着信回線としてのご利用は可能です ※フリーダイヤル・ナビダイヤルの着信回線としてのご利用いただけません
国際電話	国際電話の場合は、通話先の海外キャリアによって、番号通知が正しくされない場合があります。
FAX	本サービスでのFAX利用はできません。FAX用の別回線のご用意をお願いします
リセラー承諾	他社Microsoft 365にDirect Calling for Microsoft Teamsをお申し込みする場合には、お客さまにて事前にリセラー承諾をしていただく必要があります (参考) リセラー承諾画面： https://www.ntt.com/business/services/voice-video/voip/directcalling/reselleraccept ※海外でご契約されたMicrosoft 365をご利用の場合、リセラー承諾を行うことができません。ご契約国の確認方法やリセラー承諾を行わない場合の開通までのフローや納期は異なりますので詳細は営業担当者へお問い合わせください。
PhoneSystem機能	PhoneSystemの動作はMicrosoft社の仕様に依存いたします。 (例：PhoneSystem機能の自動応答機能及び通話キュー機能を利用した構成（時間外ガイダンス設計など）の場合、着信先の鳴動まで14秒以上かかる場合がございます。)

詳細は、重要事項説明書・ご契約の手引きをご確認ください

設定代行メニューとは

お客さまがご利用中のTeams ID (リソースアカウント含む) とDirect Calling for Microsoft Teams ID (050番号) をお客さまに代わって、Microsoft PowerShellで紐付けるものです。
本設定を行うことで、Direct Calling for Microsoft Teamsをご利用いただくことができます。



■ Microsoft PowerShell 画面イメージ

```
管理者: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.
PS C:\windows\system32>
```

実施範囲はPowerShellを使ったTeams ID (リソースアカウント含む) とDirect Calling for Microsoft Teams ID (050番号) の紐づけ作業のみです。

電話システムのライセンス付与や転送設定など電話システムの機能に関する設定は含みません。

設定に必要なコマンドは設定手順の資料としてお渡しいたしますので、PowerShellでの設定ができるご担当者様がいらっしゃる場合、お客さま自身で設定いただいても問題ございません。

設定代行メニューご利用時の留意事項などにつきましては「ご契約の手引き」も併せてご確認ください。

サポート範囲と提供内容 (1)

Microsoft 365機能のうち、Direct Calling for Microsoft Teamsの利用時に必要となるMicrosoft 365管理センターでの設定、PhoneSystem(電話システム)の設定、およびDirect Calling for Microsoft Teamsの仕様や機能に関するお問い合わせ対応をいたします。

1 サポート範囲

Direct Calling for Microsoft Teamsのご利用にあたり必要となるMicrosoft 365管理センターの設定、PowerShellの設定、PhoneSystem(電話システム)の設定に関する各種お問い合わせ対応、トラブルシューティングの遠隔サポート、Direct Calling for Microsoft Teamsについてのお問い合わせ

- Direct Calling for Microsoft Teamsの機能や仕様に関すること
- PowershellによるTeams IDとDirect Calling for Microsoft Teams IDの紐付けに関すること
- 電話機能に関わるMicrosoft 365管理センターの設定に関わること
(コールパーク、通話キュー、Microsoft 365グループ、IVRの作成/設定)
- 電話システムの機能・設定に関すること

2 対応時間/対応言語

対応時間：平日 10:00～17:00

対応言語：日本語のみ

3 問合せ元

お客様システム管理者 ※お客様の企業内の「一般利用者」からのお問い合わせは受付できません

サポート範囲と提供内容 (2)

Direct Calling for Microsoft Teamsの開通、開通後の設定および開通後の運用については大きく以下の段階があります。それぞれのフェーズにおけるサポートニーズに合わせ、ご利用メニューをお選びください。

	開通	設定	運用
工程	Powershellによる Teams IDとDirect Calling for Microsoft Teams IDの 紐付け<必須>	PhoneSystem (電話システム) 機能の設定<利用する場合>	<ul style="list-style-type: none"> 不明点の問合せ/トラブルシューティング ID追加や運用変更等に伴い発生するPowershellでの設定やPhoneSystem (電話システム)の設定変更<必要に応じ>
お客様まで実施	お客様(orお客様ベンダ)にてPowershell設定 ※不具合時はMicrosoft365導入ベンダへご連絡	お客様(orお客様ベンダ)にてPhoneSystem (電話システム)の設計・設定 ※不明点・不具合時はお客様よりMicrosoft365導入ベンダへご確認	<Microsoft365機能> お客様 (orお客様ベンダさま)にて切り分け・MS社への問合せ/確認 <Direct Callin for Microsoft Teams> NTTCom営業へお問い合わせ
Comで実施	設定代行メニュー -NTTComにてPowershell設定を実施	電話システム導入支援メニュー -NTTComにてPhoneSystem (電話システム)の設計・設定	お客様設定サポートデスク (本メニュー) -Direct Calling for Microsoft Teamsのご利用に関わるMicrosoft365機能についてNTTComにて一元受付、NTTComよりMS社へ問合せ/確認

ご留意事項

Direct Calling for Microsoft Teamsのお客さま設定サポートデスクのご利用にあたっては、以下のご留意事項がございます。ご了承の上、お申込みをお願いいたします。

1. メールでの初回問合せの場合、メール受領から翌営業日の対応時間内までに問合せ受付連絡をメールにて返信いたしますが、ご回答までの時間のコミットメントはございません。
2. お問い合わせいただいた内容については、チケット番号を発行いたします。
継続したお問い合わせの場合には、2回目以降のお問い合わせ時にチケット番号をお伝えください。
※お客さま設定サポートデスクからの回答後2週間以内に引き続きのお問い合わせがない場合、原則チケットはクローズとさせていただきます。ただし、ご契約期間中であれば新たにお問合せをいただくことで引き続きのご対応が可能です。
3. お客さまからの電話・メールでのエラー申告内容に基づき対応策をご案内いたします。
お客さまテナントへの代理ログインや設定代行はいたしません。
弊社でのPowerShellの設定代行を希望される場合には、『設定代行メニュー（有料）』をお申し込みください。
また、PhoneSystemの設定代行を希望される場合には、『電話システム導入支援メニュー（有料・特約締結）』をご検討ください。
4. お問い合わせ内容により、弊社での検証/Microsoft社への仕様確認が必要な場合には、回答までに時間がかかる場合がございます。
5. お客さま設定サポートデスクの連絡先は、お申込みいただいたお客さまのみに「ご利用内容のご案内」にてご案内します。
6. お客さま設定サポートデスクでは、お客さま設定サポートデスクをお申込みいただいた
①Direct Calling 契約番号（N番）②お客さま名 の2点により本人性を確認し、お問合せの受付をいたします。
①②をご申告いただけない場合、お問い合わせの受付ができませんのでご了承ください。
7. Direct Callingを複数契約している場合、必ずしもすべてのDirect Calling 契約番号(N番)に対しての申込は必須ではありませんが、問合せ対象が複数ある場合にはそのDirect Calling 契約番号(N番)毎にお申込みが必要です。
8. お客さま設定サポートデスクの連絡先および本人性確認情報を、お客さま設定サポートデスクをお申し込みでない第三者に開示することはお控え下さい。
9. ご契約開始月・ご契約廃止月のご利用料金は日割り計算とし、ご契約開始日より課金開始、ご契約廃止日の前日で課金終了となります。
10. 電話、メール対応のみとなります。Teams会議でのお客さま画面を見ての確認や設定代行は対応範囲外となります。

お客様設定サポートデスク よくある質問

項番	質問	回答
1	Direct Calling for Microsoft Teamsのお試しメニューを申し込む場合でも、お客様設定サポートデスクを利用できますか。	申し訳ございませんが、お客様設定サポートデスクは、お試しメニュー利用時にはご利用いただけません。 お客様設定サポートデスクのご利用を希望される場合、Direct Calling for Microsoft Teamsの本格申込をお願いいたします。
2	Direct Calling for Microsoft Teamsを複数契約しています。 (=複数のN番を持っています) お客様設定サポートデスクは、すべてのN番について申し込みが必要ですか？	複数のN番をご契約いただいている場合、必ずしもすべてのN番に対してお申し込みが必須ではありませんが、お問合せ対象のN番毎にお申し込みください。 お客様設定サポートデスクへのお問い合わせ時には、お申し込みいただいたN番とお客さま名をご申告いただく必要がございます。
3	記載のある内容以外のMicrosoft 365の機能に関するお問い合わせへもご対応可能ですか？	今後のMicrosoft 365の仕様変更や、PhoneSystem(電話システム)の機能追加等により、記載の内容以外のお問い合わせに対応する可能性はありますが、あくまでもサポート対象は、Direct Calling for Microsoft for Teamsをご利用いただくにあたって必要なMicrosoft 365の機能となりますので、例えばメール設定やOffice製品の利用方法・設定方法と言った内容にはお答えできません。
4	不具合がある場合、オンサイトの対応は可能ですか？	申し訳ございませんが、オンサイトでの対応は行っておりません。
5	設定方法を教えてもらいながらやってみたが、うまく設定できないので代わりに設定してもらいたい。	PowerShell部分でしたら「設定代行メニュー」をお申込み下さい。 (有償：55,000円・税込) PhoneSystem部分でしたら「電話システム導入支援メニュー」※をご利用下さい。(有償：275,000円・税込～) ※特約提供メニュー。詳細は営業担当者までお問い合わせください

「Direct Calling for Microsoft Teams」サービスのご紹介

<https://www.youtube.com/watch?v=y3B4TMdEjXY>

「Teamsから外線通話ができる働き方は、会社は、どう変わる？」という疑問にお答えする「Direct Calling for Microsoft Teams」のご紹介動画です。Teamsの一層の活用に、働き方改革につながるヒントがここに！

【動画イメージ】



【QRコード】



「Direct Calling for Microsoft Teams」使い方のご紹介

https://www.youtube.com/watch?v=hVkz_tQiySw

「Direct Calling for Microsoft Teams」をもっと便利にご利用いただくヒントと設定方法をご紹介します。

- 1) 営業時間外に別の拠点で電話を受けたい場合の設定
 - 2) 電話に出らない時に代理応答してほしい場合の設定
 - 3) 外出中の人に電話を取り次ぎたい場合の操作
 - 4) 目の前の人に電話を取り次ぎたい場合の操作
 - 5) 代表電話のように使いたい場合の設定
- 参考/通話グループの設定

【動画イメージ】



【QRコード】



(参考) Office 365/Microsoft 365ライセンスと Phone System (電話システム)/Business Voiceの組み合わせ例



本サービスがご利用可能なプラン		Phone System (電話システム)	Business Voice ^{※2}	備考
Office 365	E1/E3/F3 ^{※1}	○	○	Phone System(電話システム)かBusiness Voiceを追加することで、Direct Calling for Microsoft Teams利用可
	E5	— ^{※3}	×	追加ライセンス不要でDirect Calling for Microsoft Teams利用可
Microsoft 365	E3	○	○	Phone System (電話システム)かBusiness Voiceを追加することで、Direct Calling for Microsoft Teams利用可
	E5	— ^{※3}	×	追加ライセンス不要でDirect Calling for Microsoft Teams利用可
	F1/F3 ^{※4}	○	×	Phone System (電話システム)を追加することで、Direct Calling for Microsoft Teams利用可
	Business Basic ^{※5} /Standard ^{※6} /Premium ^{※7}	○	○	Phone System(電話システム)かBusiness Voiceを追加することで、Direct Calling for Microsoft Teams利用可
教育機関向けAライセンス ^{※8}		Phone System(電話システム)が付けられるプラン (もしくはPhone System(電話システム)が含まれているプラン) については、Direct Calling for Microsoft Teams利用可		

※1:旧Office 365 F1

※2:Business Voiceには「Phone System(電話システム)」が含まれています

※3:E5/A5プランにはPhone System(電話システム)が含まれるため、別途Phone System(電話システム)のお申し込み不要

※4:旧Microsoft 365 F1

※5:旧Office 365 Business Essentials

※6:旧Office 365 Business Premium

※7:旧Microsoft 365 Business

※8:お使いのプランでPhone System (電話システム)が付けられるかは、Microsoft社もしくは、購入元にご確認お願いいたします。

※ Microsoft社の仕様変更に伴い、プラン名称や提供内容が予告なく変更となる場合がございます。

※ 本サービスのお申し込みにあたっては、同一テナントにMicrosoft 365/Office 365のE1、E3、E5、A1、A3、A5のいずれかのライセンスが管理用ユーザとして1ライセンス必要となります。お客さま環境での本サービスのご利用が確認できましたら、管理用ユーザのライセンスの割り当ては解除することができます。

(参考) Office 365/Microsoft 365ライセンスの参考価格

本サービスがご利用可能なプラン		参考価格 (月額) ※2020年6月時点でのCom 365/M365	備考
Office 365	E1	870円/ID (税込957円/ID)	
	E3	2,170円/ID (税込2,387円/ID)	
	E5	3,810円/ID (税込4,191円/ID)	Phone System (電話システム)含むプランのため、オプションの契約不要
	F3	430円/ID (税込473円/ID)	
Microsoft 365	E3	3,480円/ID (税込3,828円/ID)	
	E5	6,200円/ID (税込6,820円/ID)	Phone System (電話システム)含むプランのため、オプションの契約不要
	F1	245円/ID (税込269円/ID)	
	F3	870円/ID (税込957円/ID)	
	Business Basic	540円/ID (税込594円/ID)	
	Business Standard	1,360円/ID (税込1,496円/ID)	
	Business Premium	2,170円/ID (税込2,387円/ID)	
Microsoft 365 Phone System (電話システム)		870円/ID (税込957円/ID)	
Microsoft 365 Business Voice		870円/ID (税込957円/ID)	Phone System (電話システム)含む

※本サービスのお申し込みにあたっては、同一テナントにMicrosoft 365/Office 365のE1、E3、E5、A1、A3、A5のいずれかのライセンスが管理用ユーザとして1ライセンス必要となります。お客さま環境での本サービスのご利用が確認できましたら、管理用ユーザのライセンスの割り当ては解除することができます。

※ Fプランのみ、Business系のプランのみ、Aプランのみでご利用中の場合、同一テナントにEライセンスを1つ以上ご準備ください。

※ 教育機関向けのAライセンスの価格に関しては、購入元のCSPへご確認ください。

※ Microsoft社の仕様変更に伴い、プラン名称や提供内容が予告なく変更となる場合がございます。

※ Microsoft 365 for NTT Comの取り扱いライセンスは以下のWebサイトをご確認ください

<https://www.ntt.com/content/dam/nttcom/hq/jp/about-us/disclosure/tariff/pdf/c244.pdf>

(参考) Microsoft Teams 電話機能(1/3) (2021年5月17日現在)

機能名 (英語)	機能名 (日本語)	機能概要	Direct Calling for Microsoft Teamsの利用	備考
Call forwarding options and simultaneous ring	通話の転送オプションと同時呼び出し	ユーザーが転送ルールを設定して、通話をどこからでも移動したり、通話を同僚やボイスメールに転送させる	✓	
Group call pickup and forward to group	グループ通話の受け取りとグループへの転送	ユーザーが同僚と着信通話を共有して、ユーザーが応答できない間に発生した通話に同僚が応答できる	✓	
Call park and retrieve	コールパークおよび取得	ユーザーがクラウドの Teams サービスで通話を保留にできる。通話の保留を実行すると、Teams サービスにより通話解除のための固有のコードが生成され、通話を保留したユーザーまたは他のユーザーは、そのコードとサポートされているアプリやデバイスを使用して、通話を再開できる	✓	
Shared Line Appearance	回線共有機能 (代理人)	別のユーザーが自分の代わりに通話を発着信できるよう、ユーザーが自分の電話回線を共有できる	✓	
Call blocking	通話ブロック	ユーザーがブロックリストに電話番号を追加して、その番号からの次の通話をブロックする	✓	
Transfer a call and consultative transfer	コンサルティング転送 (取次転送)	ユーザーが通話を別のユーザーに転送できる。または、オフィスを離れる必要があるが、会話を続ける場合は、PC または IP 電話から携帯電話に通話を転送できる	✓	
Cloud voicemail	クラウドボイスメール	ユーザーがボイスメールを受信すると、ボイスメールメッセージが添付されたメールとして Exchange メールボックスに配信される。ユーザーは、認定されたデスクトップ電話、およびすべての Teams または Skype for Business アプリケーションでメッセージが聞ける。	✓	ボイスメール トランスクリプションに対するサポートは 2017 年 3 月時点で追加されており、すべての組織とユーザーに対して既定で有効
Transfer to voicemail mid call	通話中にボイスメールに転送する	ユーザーが通話中にボイスメールに転送できる	✓	
Cloud auto attendants	クラウド自動応答	応答ルールに従い、メッセージ応答 (スケジュール設定可) や IVR 機能が使用可能。	✓	

※Microsoft Teamsの電話機能に関する最新情報はMicrosoft社のWebサイトをご確認ください
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/MicrosoftTeams/here-s-what-you-get-with-phone-system>

(参考) Microsoft Teams 電話機能(2/3) (2021年5月17日現在)

機能名 (英語)	機能名 (日本語)	機能概要	Direct Calling for Microsoft Teamsの利用	備考
Music on hold	保留中の音楽	外線通話を保留した場合、既定の音楽を再生します。この機能は、通話キューに対して行われた通話に加えて、1対1の外線通話に対して機能する。この機能は管理者が構成できるが現在は PowerShell 経由でのみ行う。取次転送では、保留音楽もサポートされていない	✓	
Call phone number from search	検索から電話番号に電話する	ユーザーが /call コマンドを使用して名前または番号を指定して、検索ボックスから通話を行う	✓	
Caller ID	発信者番号	社内からの通話には、会社のディレクトリから情報を取得する詳細な発信者番号が表示され、電話番号ではなく画像 ID と役職が表示される。外部の電話番号からの通話の場合、電話サービス プロバイダーから提供された発信者番号が表示される	✓	
Device switching	デバイスの切り替え	ユーザーが Teams に接続されている別の HID デバイスで通話または会議を再生できる。たとえば、PC スピーカーからヘッドセットに切り替える	✓	
Presence-based call routing	プレゼンス ベースの通話ルーティング	プレゼンスを使用して受信通信を制御し、特に指定された通信を除くすべての受信通信をユーザーがブロックできる	✓	
Integrated dial pad	統合ダイヤルパッド	ユーザーは、検索バーやダイヤルパッド内の任意の場所で名前または番号でダイヤルし、発信通話の処理を高速化できる	✓	
Federated calling	フェデレーション通話	ユーザーがフェデレーション テナント内のユーザーと安全に接続し、通信し、共同作業できる	✓	
Make and receive a video call	ビデオ通話を行う、またはビデオ通話を受信する	ユーザーのアカウントでビデオ通話が有効になっている場合、ユーザーは連絡先と対面でビデオ通話を行う	✓	
Call answer/initiate (by name and number)	通話の応答/開始 (名前と番号)	ユーザーがタッチして着信に応答する。電話番号をダイヤルするか、クライアントの名前をクリックして、発信できる	✓	

※Microsoft Teamsの電話機能に関する最新情報はMicrosoft社のWebサイトをご確認ください
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/MicrosoftTeams/here-s-what-you-get-with-phone-system>

(参考) Microsoft Teams 電話機能(3/3) (2021年5月17日現在)

機能名 (英語)	機能名 (日本語)	機能概要	Direct Calling for Microsoft Teamsの利用	備考
Cloud voicemail user settings	クラウド ボイスメール のユーザー設定	ユーザーは、ボイスメール応答メッセージ、通話応答ルール、および応答メッセージの言語 (アウトオブオフィスの応答メッセージを含む) のクライアント設定を構成できる	✓	
Secondary ringer	セカンダリ呼び出し音	複数のスピーカー デバイスを PC に接続しているユーザーは、既定のスピーカーに加えて、第 2 デバイスを呼び出す設定ができる。たとえば、PC に接続されているヘッドセットとデスク スピーカーを持つユーザーは、通話が入ってくるとヘッドセットとデスク スピーカーの両方が鳴り、通話を見逃すのをなくせる	✓	
Distinctive ring alerts (Teams only)	独自の呼び出し 音通知 (Teams のみ)	ユーザーは、通常の通話、転送された通話、委任された通話に個別の着信音を選択して、通話の種類を区別できる	✓	
Common Area Phones	共有エリア電話	ロビーや会議室のような場所に置かれる共有エリア電話は、複数のユーザーが利用できます。共有エリア電話は、ユーザーではなくデバイスとして設定する	✓	
Media bypass support (for Teams Direct Routing only)	メディア バイパス サポート (Teams ダイレクト ルーティングのみ)	パフォーマンスを向上するために、メディアは Microsoft Phone System 経由で送信する代わりに、セッション ボーダー コントローラー (SBC) とクライアントの間に保持される	✓	
Busy on Busy	取り込み中	話中時に発信元に「話中」であることを知らせることができる機能。デフォルトでは「無効」になっており、Microsoft365の管理者権限で有効化することが可能。 話中と判定する条件は「通話中」「会議中」「応答不可」の3つ。話中と判定された場合の挙動を以下の中から選択できます。 ①発信元にも「話中」であることを知らせる (BT) ※1 ②話中時は指定の場所に転送する※2 ③話中であっても着信可能なChがあれば着信する ※3	✓	※1 Microsoft365の管理者権限で設定可能 ※2 Microsoft365の管理者権限で設定を行った後、クライアント側で「未応答の場合」の設定が必要 ※3 デフォルト設定はこの設定
Cloud call queues	クラウド通話キュー	キューの設定に従い、特定のユーザグループ内に同時、順次、ラウンドロビン着信が可能。	✓	

※Microsoft Teamsの電話機能に関する最新情報はMicrosoft社のWebサイトをご確認ください
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/MicrosoftTeams/here-s-what-you-get-with-phone-system>

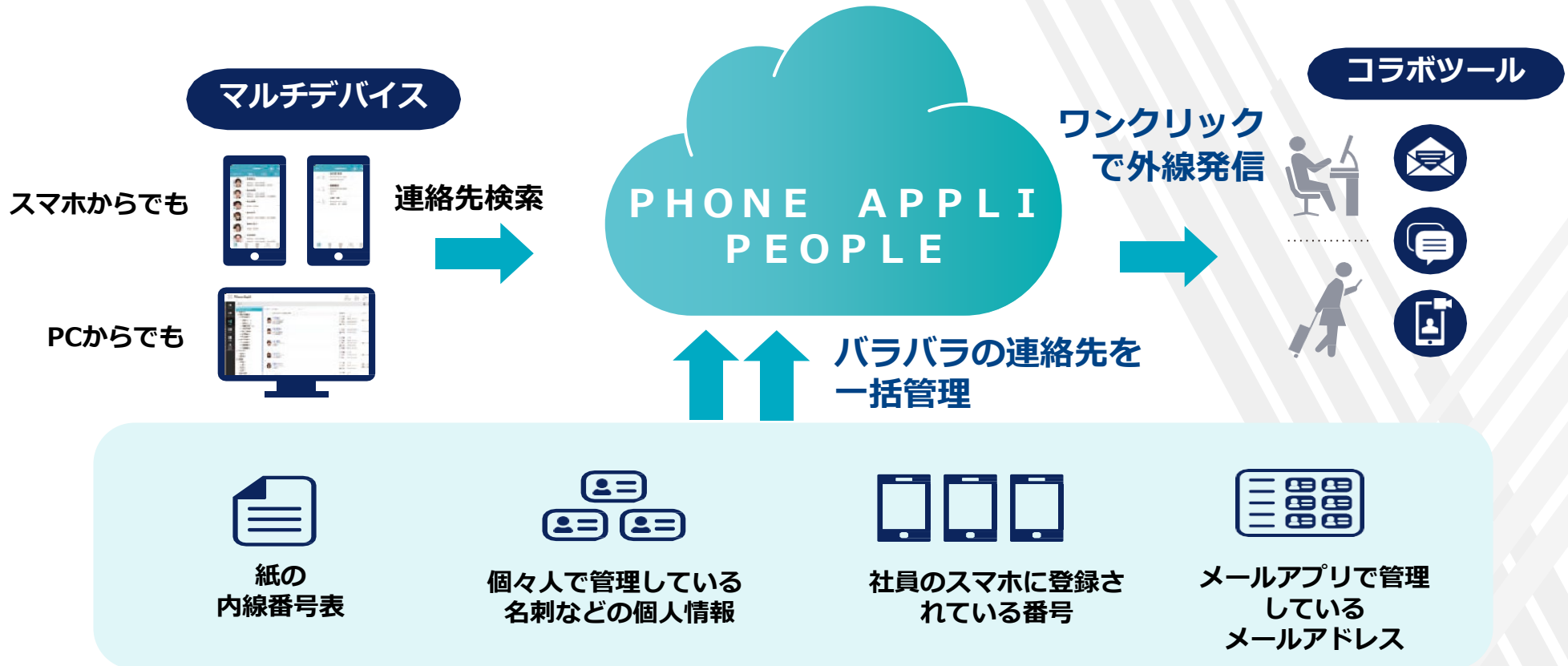
Direct Calling for Microsoft Teams をさらに便利にご利用いただく

PHONE APPLI PEOPLE

PHONE APPLI PEOPLEとは？

PHONE APPLI PEOPLE

名刺管理にも使えるクラウド型のWeb電話帳サービス。
一元管理された電話帳からワンクリックで社内・社外の連絡先
へアクセス可能。



- 簡単！** 受け取った名刺はスマホで撮影、すぐに名刺情報を登録・共有
- 便利！** いつも同じアプリから社内外の連絡先を検索
- 安心！** スマホ内に連絡先登録不要.紛失などによる情報漏洩の心配はありません

メリット1

名刺情報・連絡先情報を全社で共有可能

■ 導入前

- ・ 個人単位に連絡先を管理
- ・ 名刺情報の登録ができない



登録していない人の
連絡先が分からない

名刺をもらったけど
自分で登録するのが面倒

■ PHONE APPLI PEOPLE導入後

- ・ 社内外の連絡先情報を共有
- ・ 名刺情報も連絡先として登録できる



全社の共有電話帳から
相手を見つける

名刺を撮影すれば
OCRで自動登録できる

メリット2

相手の検索がもっと簡単・便利に

■ 導入前

- ・ 名前以外での検索ができない
- ・ 組織ツリーから検索ができない



「山本さん」って
どの山本さんだっけ？

あの部署の課長さんの
名前が出てこない

■ PHONE APPLI PEOPLE導入後

- ・ 部署や社名など、名前以外でも検索可能
- ・ 組織ツリーで検索が可能



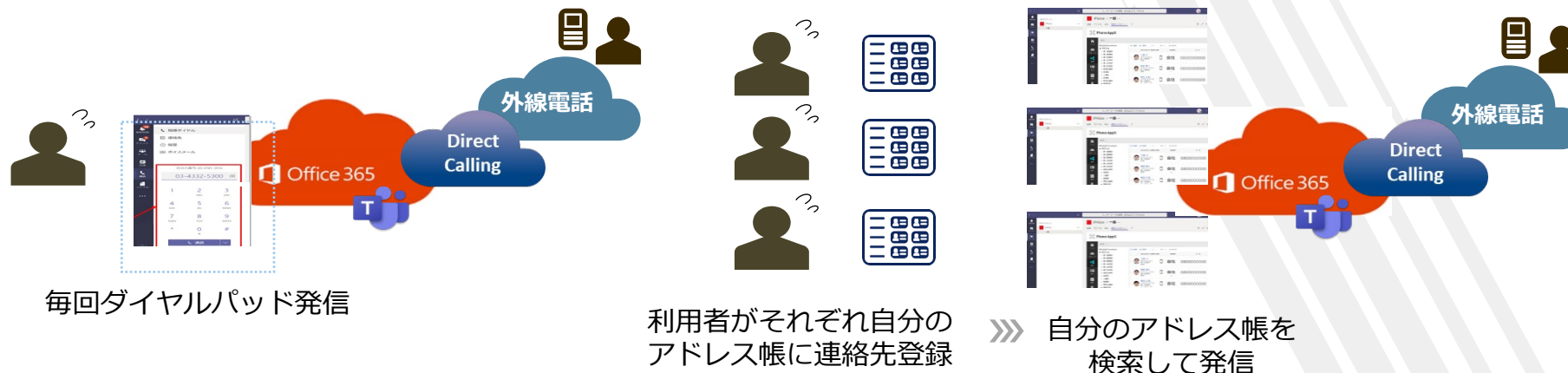
会社名やメモ欄から
相手を探す

部署から相手を探す

Direct Calling for Microsoft Teams + PHONE APPLI PEOPLE

PHONE APPLI PEOPLEなし

Direct Calling for Microsoft Teamsのみのご利用時



PHONE APPLI PEOPLEあり

Direct Calling for Microsoft Teams + PHONE APPLI PEOPLE ご利用時



一元管理されたアドレス帳からダイヤルパッド発信だけでなく
PHONE APPLI PEOPLE上の**連絡先をワンクリックするだけで外線発信!**

※スマートフォン連携（PHONE APPLI PEOPLEからTeamsアプリを起動し発信する機能）についても今後提供予定です

PHONE APPLI PEOPLE利用料金

価格

() 内は消費税を含んだ金額

項目	内容	ユーザー定価	備考
基本メニュー(サービス利用料)			
PHONE APPLI PEOPLE 基本料 ※1	1ID (ライセンス) あたりの サービス月額利用料 (単価) ※契約ID数を乗じて計算	¥300/ID (¥330/ID)	最低契約単位 5ID~
加算メニュー			
共有・個人電話帳登録件数追加利用料 ※2	1,000件/IDまでの登録可能数に、追加で 10,000件の登録を可能とする月額利用料	¥1,000/契約 (¥1,100/契 約)	契約単位
附帯メニュー			
名刺データ入力サービス	名刺データを人手で実施するサービス	別途お問い合わせください	

項目	内容	ユーザー定価	備考
工事料金			
新設工事手数料	新規サービス契約時の工事料金	¥3,000/回 (¥3,300/回)	
変更工事手数料	変更工事料金	¥3,000/回 (¥3,300/回)	
廃止工事手数料	廃止工事料金	¥0/回	

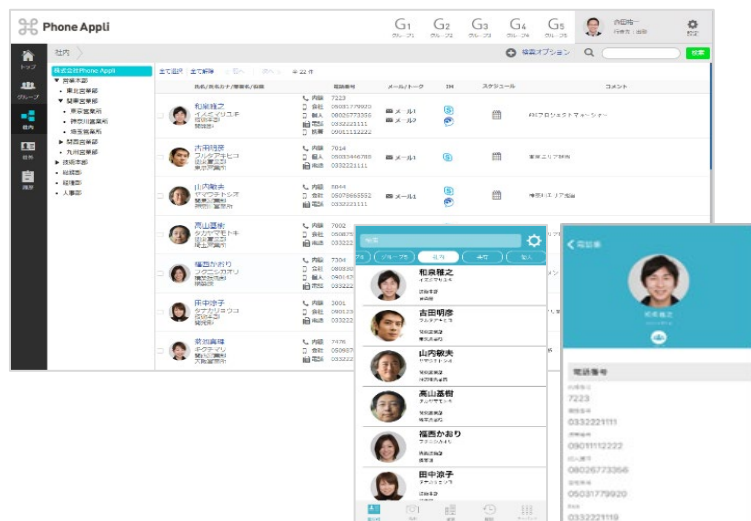
※1：課金は契約単位日割りなし。初月無料・廃止月有料。ただし、初月解約時は基本料を請求

※2：日割りなし。初月無料・廃止月有料

「PHONE APPLI PEOPLE」の主要機能

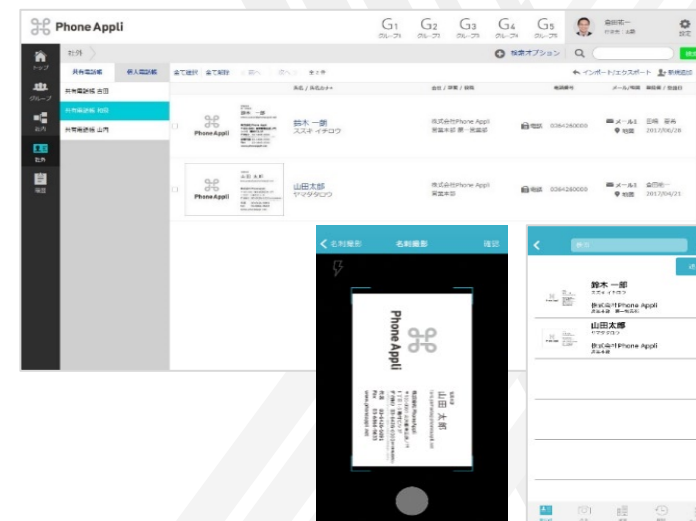
Web電話帳 (社内/社外)

社員・お客さまの連絡先を一元管理。最適なツールでコミュニケーション



名刺管理

スマホアプリから簡単に名刺登録



ライセンスの考え方

★ユーザーライセンスには以下が含まれます

- ・社内電話帳への登録 1件
- ・社外電話帳(名刺)登録 1,000件分のリソース
- ・OCR機能利用権

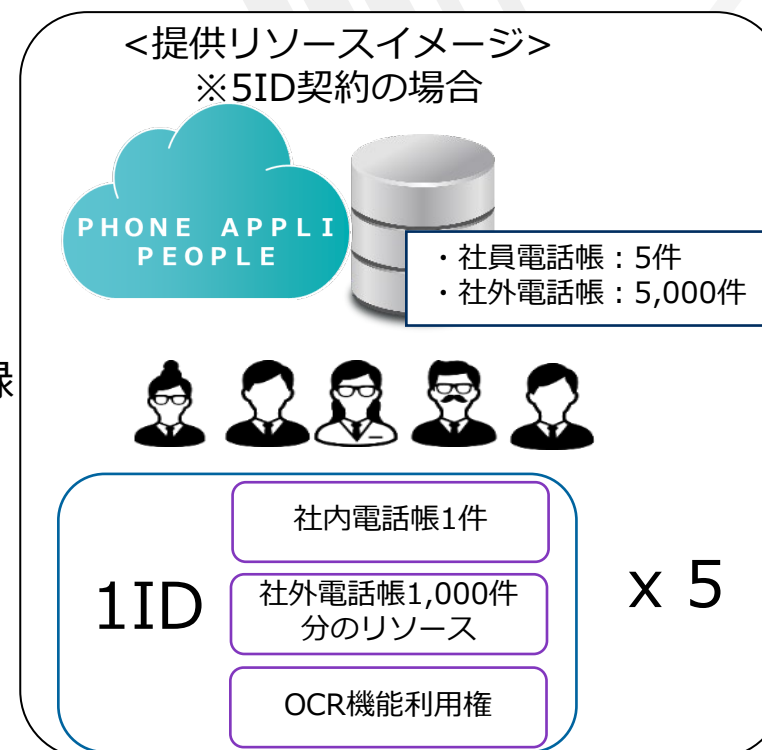
★デフォルトで登録可能な連絡先の件数は以下となります

- ①ご契約ID数分の社員の連絡先登録 (社内電話帳)
+
- ②ご契約ID数 x 1,000件分の名刺登録 (社外電話帳)

5ID契約の場合、

- ①社員5名分の社内電話帳登録
+
- ②5ID数 x 1,000件 = 5,000件分の社外電話帳(名刺)登録が可能となります。

※5,000件分のリソースに達した場合、
加算メニュー「共有・個人電話帳登録件数追加利用料」を
ご契約いただくことにより、追加で10,000件の登録が可能

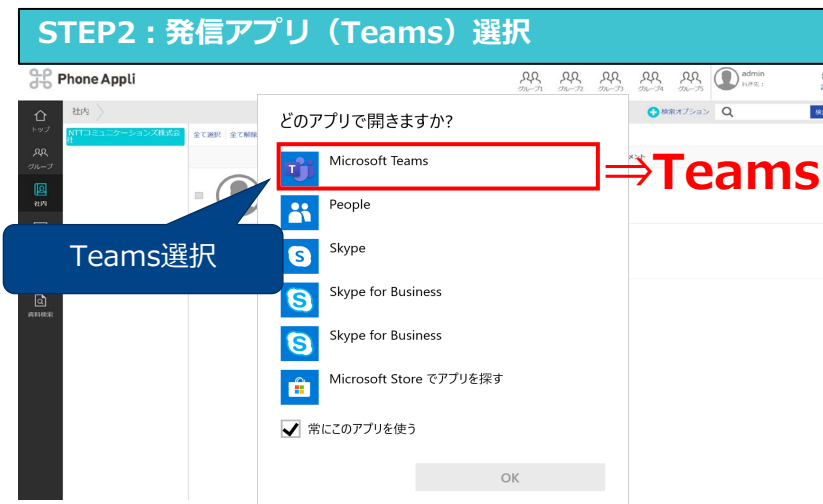


PHONE APPLI PEOPLE (PCブラウザ) からTeams外線発信

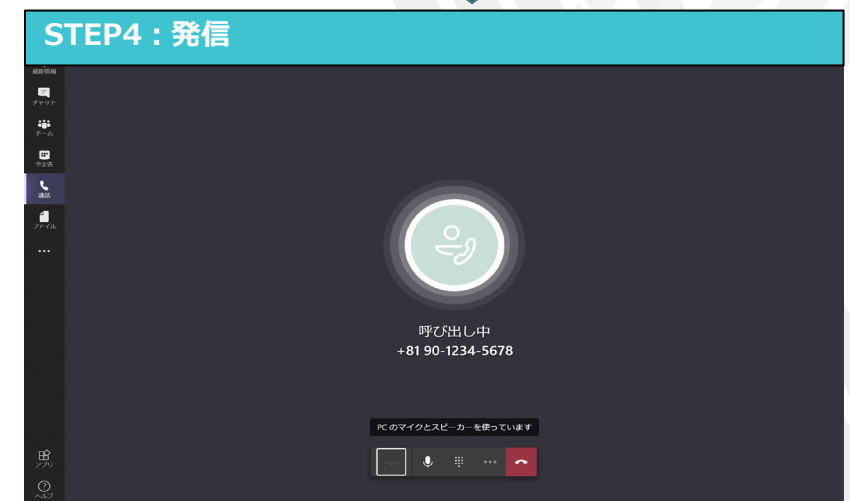
PHONE APPLI PEOPLE (PCブラウザ) 画面



Teams (アプリ) 画面



⇒ Teamsアプリ起動



(参考) PHONE APPLI PEOPLEサービス詳細 (4/4)

Teamsアプリ ⇒ PHONE APPLI PEOPLE (PCブラウザ) 起動 ⇒ 外線発信

Teams (アプリ) 画面

STEP1 : Teamsアプリ内ブラウザでPHONE APPLI PEOPLE表示



※ブラウザ連携方法は割愛

STEP3 : 発信確認



STEP2 : PHONE APPLI PEOPLEから対象の番号選択



※発信アプリ選択は割愛

STEP4 : 発信

